

● 世界の主な火山活動

平成 30 年 (2018 年) 6 月に被害を伴った噴火が報告された主な火山 (日本を除く)* は以下のとおり。

キラウエア (Kilauea) アメリカ (図中 A) 標高 1,222m

キラウエアでは、イーストリフトゾーン下部地域での噴火が継続しており、ハワイ郡民間防衛局によれば、17 日までに 533 戸の家が溶岩流により破壊された。

フエゴ (Fuego) グアテマラ (図中 B) 標高 3,763m

フエゴでは、3 日に爆発的噴火が発生した。ワシントン VAAC によると、噴煙が海拔 9 km まで上昇した。報道によると、火砕流が少なくとも 8 km 流下し、その温度は 700 度に達した。ラ・アウロラ国際空港は 3 日から 4 日にかけて閉鎖された。その後も爆発的噴火が度々発生し、火砕流や火山泥流が流下した。グアテマラの国家災害対策調整委員会 (CONRED) によれば、7 月 3 日現在、6 月 3 日の火砕流で 113 人が死亡し、197 人が行方不明のままである。また、12,823 人が避難している。

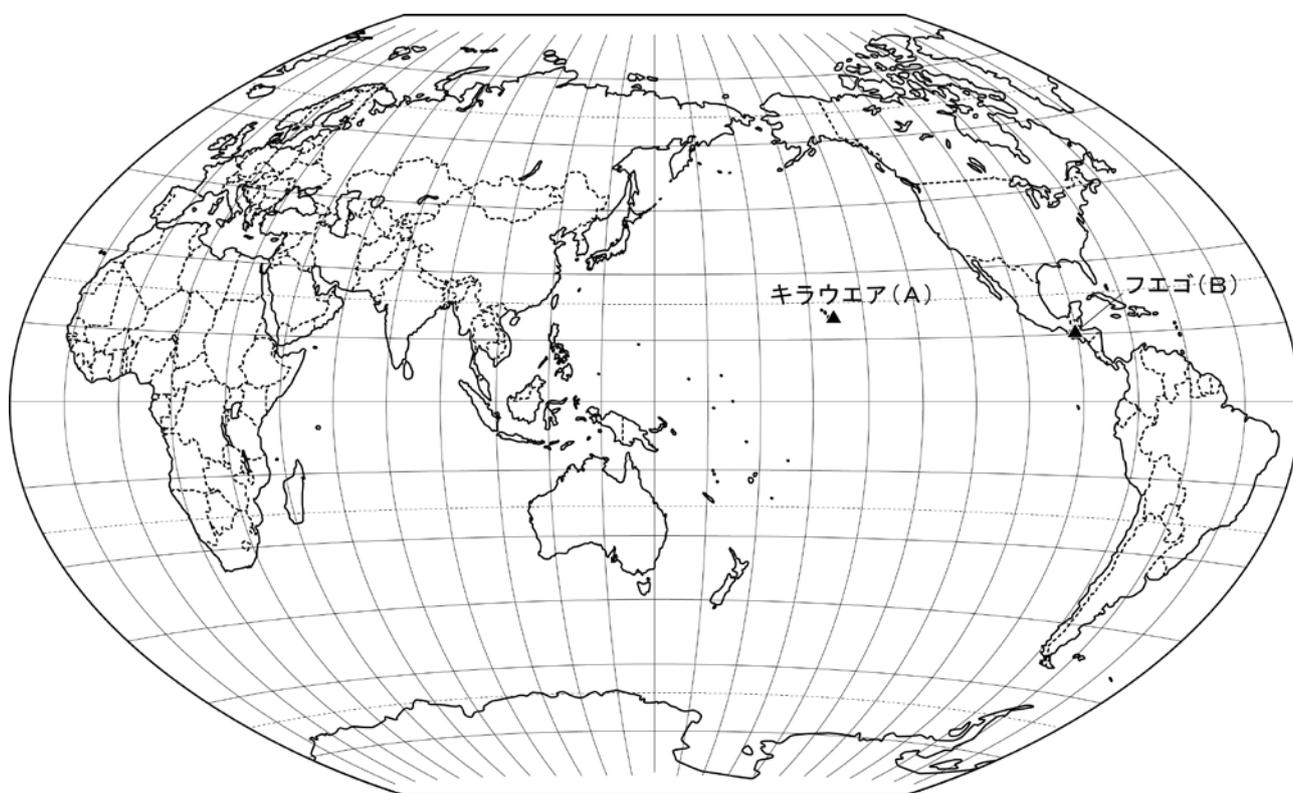


図 平成 30 年 (2018 年) 6 月に被害を伴った噴火が発生した主な火山 (日本を除く) *

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針 (参考編)」による。